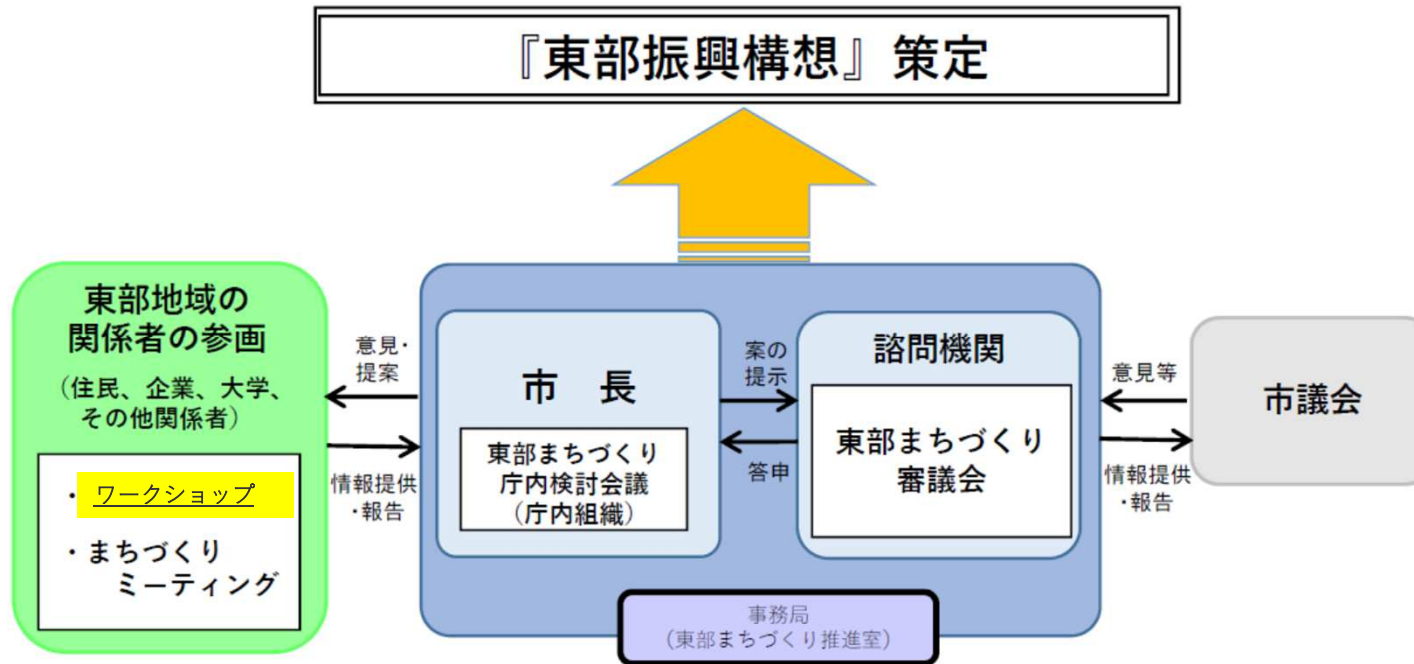


東部まちづくりワークショップについて

1. 審議会とワークショップの関係性

- ・審議会で議論した内容を踏まえ、ワークショップで深堀し、具体的な取組を創出する。



2. まちづくりミーティング及びワークショップについて

●目的

住民、企業、その他関係者に、東部地域のまちづくりに参画してもらうこと。

●まちづくりミーティングとは。

情報発信し、意見を聴く場。

●ワークショップとは。

①意見交換を行う場。 ②東部まちづくりの参画へのきっかけづくり。

3. ワークショップの内容

【参加者】 50名程度(1グループ5~6名で構成)

地域住民

企業関係者

学生等

その他
関係者

【開催回数】

年間3回程度を予定し、進捗状況に応じて回数は見直します。

(※その後、引き続き、取組(トライアル)が実施できるよう進めていきます。)

【開催時期(予定)】

令和3年7月17日、9月4日、11月14日

【テーマ】

● 構想策定に伴うテーマ **【ワークショップ】**

①現状分析
②まちの将来像とビジョン
及び取組方針(素案)の
共有

①ビジョンに基づく
地域資源の発掘
②取組アイデアの創出
③取組の方向(素案)の共有

実現に向けたアイデア
の深堀

● 取組実施(トライアル実施)に伴うテーマ **【プラットフォーム】**

プロジェクトの
具現化(1)

プロジェクトの
具現化(2)

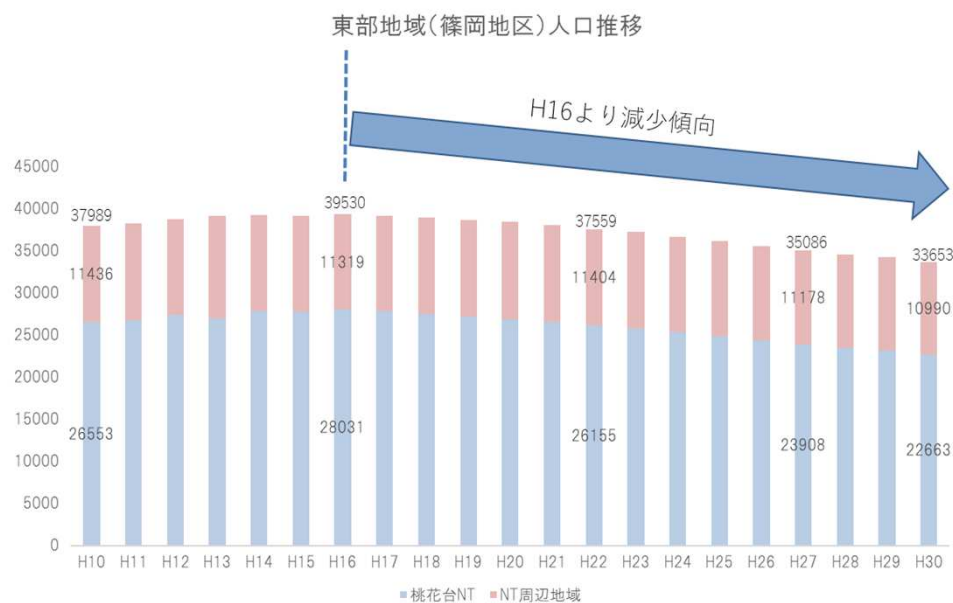
プロジェクトの
具現化(3)

プレゼン
(トライアルの結果報告)

現状分析、まちの将来像・ビジョンの共有

ワークショップ
構想策定に伴うテーマ

◆参加者同士が心を打ちとけられるよう、まずは参加者の緊張をほぐしながら、ビッグデータ等による東部地域の現状及びまちの将来像(素案)、ビジョン(素案)、取組方針(素案)について共通認識を持ちます。



ビジョンに基づく、地域資源の発掘 取組アイデアの創出

ワークショップ
構想策定に伴うテーマ

◆まちの現状やまちの地域資源について再認識するために、参加者に事前に東部地域のまち歩きを行ってもらったうえで、地域資源の発掘や取組アイデアの創出をカードゲーム「メイキット」を使用し行います。

また、そのうえで、取組の方向(素案)への意見も伺います。

【イメージ写真】



まちの声 まちの魅力 まちの資源

メイキットは勝ち負けを競うよりも
散策やアイデア出しを通じたの
コミュニケーションを楽しむゲームです。

実現に向けたアイデアの深堀

ワークショップ
構想策定に伴うテーマ

- ◆ 第2回で創出した取組アイデアからグループごとにベストアイデアを選び、その取組の深堀を行います。

【イメージ写真】



プロジェクトの具現化(1)～(3)

プラットフォーム
取組(トライアル) 実施に伴うテーマ

◆ アイディア・プロジェクト等について、住民、行政、企業、その他関係者など、それぞれの役割などまで、具現化しそれぞれのプロジェクトの実行に移す土台をつくります。

〔テーマごとに分かれて、グループディスカッションを行います。〕

【イメージ写真】



※出典：次世代郊外まちづくりワークショップ(横浜市建築局住宅部住宅再生課)

トライアル

プラットフォーム
取組（トライアル）実施に伴うテーマ

◆プロジェクトの具現化（1）～（3）で議論した内容を、実際にアクションとして行動に移してみます。

【イメージ写真】



プレゼン(トライアル結果)

プラットフォーム
取組(トライアル) 実施に伴うテーマ

- ◆実際にアクションとして行動に移したトライアルの結果をプレゼンテーションにて報告してもらいます。

【イメージ写真】

